

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

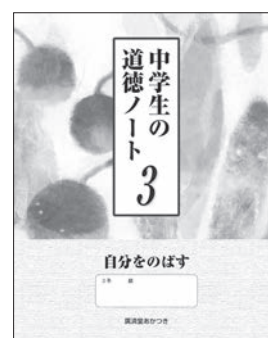
受理番号	学校	教科	種目	学年
29 - 64	中学校	道徳	道徳	第3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
232 廣あかつき	道徳 928 道徳 929	中学生の道徳 自分をのぼす3 中学生の道徳ノート 自分をのぼす3		

1 編修の基本方針

教育基本法第2条に示される教育の目標を達成するため、本教科書は以下を基本方針として編修しました。



2冊の相乗効果で
新時代を生きる生徒の
豊かな情操と道徳心を
培います



ともに考え、話し合う

教材をもとに考える主体的・対話的な学習を通して、多面的・多角的な思考を促し、人間としての生き方についての考えを深めます。

- 選りすぐりの教材
(全35本掲載)

豊かな
自己の形成

自分を見つめ、考え、のぼす

書くことを通して自問と内省へと導き、道徳的思考をいっそう深め、道徳的価値(内容項目)の理解を確かなものにします。

- 内容項目の解説と問い
- 自己評価、学習の記録欄など

ノート別冊には、理由があります

- 生徒の学習状況や授業の進め方に応じて、活用のタイミングを図れます。
 - ▶ 授業の事前・事後、導入・終末、その他(学校行事など生徒の体験や各教科との関連等)の機会に応じて、弾力的な活用が可能です。
 - 提出が容易で、生徒の心の成長が見えます。
 - ▶ 別冊ゆえに提出が容易で、随時、生徒の学習状況を教師が確認できます。
- 記述からは、生徒の心の状態や成長が見て取れ、その後の指導や評価に生かすことができます。

○一冊がまるごと生徒の「心の記録」になります。

▶教科書使用終了後も、ノートはその学年の心の記録として各自で保管します。自己を振り返って、自分の考えを比較したり成長を実感したりできるものとして、次学年以降も折に触れて活用することができます。



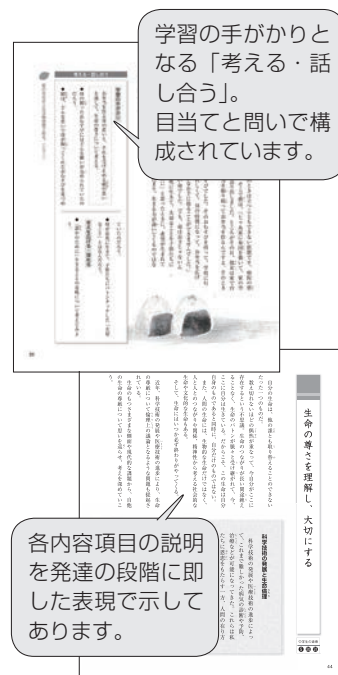
——— 活用性・管理性・保存性・記録性に優れた別冊方式

(1) 豊かな情操と道徳心を培う本冊と「道徳ノート」(第1号)

本冊では、各教材ごとに学習の手がかりとなる「考える・話し合う」を配置し、生徒の主体的な思考、対話的な活動を促す構成としました。ともに考え、話し合う協働的な学習により、生徒は、他者の多様な感じ方や考え方に触れることができ、多面的・多角的なものの見方や考え方へとつながる新たな視点を獲得することができます。

また、道徳ノートは、内容項目別に構成することで学習内容(道徳的諸価値)を明確化しました。生徒は、教師の指示に沿って授業の事前・事後、あるいは授業の導入・終末などに道徳ノートを活用することにより、道徳的諸価値への理解が深まり、効果的にねらいに迫ることができます。

生徒の学習状況や各教科等との関連、教師がイメージする授業の進め方や展開などに応じ、2冊を柔軟に活用することで、豊かな情操と道徳心を培うことができる教科書です。



(2) 発達の段階に即した、魅力あふれる35時間分の教材があります(第1~5号)



すべての学年において、年間の配当時数35時間分の教材を掲載しました。各学年の発達の段階に即した、人間のよさを感じることで選りすぐりの教材群から、自主自律、責任、正義、勤労、生命や自然環境、伝統文化、国際平和などの意義や重要性について、深く思考することができます。

問題意識をもち多様に考えることができる教材、自己の体験や経験に照らして考えることができる教材、悩みや葛藤、心の揺れなど人間らしさが理解できる教材、よりよく生きる喜びや勇気、感動を与えられる教材を厳選しています。

(3) 命の教育を重視します(第4号)

本教科書は、特に「生命尊重」に重点をおき、編修しました。内容項目「生命の尊さ」は、最大時間数(年間3時間)を配当しています。

2 対照表

本教科書本冊及び別冊の構成・内容と教育基本法第2条の各号との対照は以下の通りです。第1号に示される「道徳心を培う」については、全内容に該当することから、各々への表示は省略しました。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
自分をのばそう —道徳の時間とは—	第3学年における道徳科の授業開きとして活用できます。自己の変化や心身の成長を振り返り、改めて自分の生き方を考えて、自己をよりよく成長させていこうと呼びかけています。【第2号】	p.2～3
道徳ノート	「中学3年生の私」への書き込みを通して自己を見つめます。【第1号】	巻頭
自分で考え誠実に実行し、結果に責任をもつ 本冊教材番号 ① ⑭ ⑳	自律的な判断と責任について考える「①リクエスト」、情報モラルの観点を踏まえた「⑭ピヨ子」、先哲の思想や生き方から真理を求める態度と自律の精神について考える「⑳カントとルソー」の3編を掲載しています。【第1・2号】	① p.4～9 ⑭ p.64～67 ⑳ p.113～115
道徳ノート	孔子の言葉から、自律的な生き方について考えます。【第2号】	p.2～3, p.12
度を過ぎず、調和のある生活をする 本冊教材番号 ④	向田邦子の著作「④独りを慎む」では、生活を自主的、自律的に改善していこうとする筆者の姿から、望ましい生活習慣を築いていくことについて考えを深めます。また千玄室氏の著作「●日々是好日」では、千利休の思想から毎日をよりよく過ごしていくための心構えを学びます。【第2号】	④ p.19～21 ● p.22～23
道徳ノート	生活習慣と心身の関係について考える書き込み欄を設けています。【第1・2号】	p.4～5
自己の向上を図り、個性を伸ばす 本冊教材番号 ⑪	「⑪ぶれない心—松井秀喜—」、「●僕は一步步階段を上っていくタイプだと思います」では、元メジャーリーガーの松井秀喜氏の生き方から、自己の向上を目指して、能力を伸ばしていこうとする態度を養います。【第2号】	⑪ p.48～52 ● p.53
道徳ノート	自己の個性について見つめるための書き込み欄を設けています。【第2号】	p.6～7
目標の達成を目指し、着実にやり遂げる 本冊教材番号 ⑥ ㉓	「⑥優しいうそ」では萩生田千津子氏の半生に触れて、希望と勇気をもって生きること、その生き方を支えているものについて考えます。さだまさし氏の歌詞を扱った「㉓風に立つライオン」では自らの理想に向かって生きることについて考えを深めます。【第2号】	⑥ p.26～31 ㉓ p.102～104
道徳ノート	書き込み欄や意識調査の結果から、夢や人生の目標について考えます。【第2号】	p.8～9
真実・真理を求め、新しいものを生み出す 本冊教材番号 ㉔	「㉔ショーペンハウアーとニーチェ」では自分の思想をつくり上げる先哲の姿に触れて、真理を求める態度を養います。【第1号】	㉔ p.148～150
道徳ノート	身の回りの技術を創造した知恵について考えを深めます。【第1・2号】	p.10～11
思いやりと感謝の心で人間愛の精神を深める 本冊教材番号 ⑨ ⑱ ㉑	「⑨原稿用紙」、「⑱月明かりで見送った夜汽車」、「㉑ある元旦のこと」の3編を通して、社会の中で人々が互いに協力し合って生きている姿に触れながら、その根底にある温かい人間愛の精神について考えを深めます。【第3号】	⑨ p.41～43 ⑱ p.78～81 ㉑ p.116～118
道徳ノート	金子みすゞの作品に触れて、互いを思いやる心について考えます。【第3号】	p.14～15, p.22
礼儀の意義を理解し、適切な言動をとる 本冊教材番号 ⑮	「⑮席を譲られて」では2つの対照的な事例の比較を通して、公共の場における礼儀作法について考えを深め、敬愛の念をもって他者と接する態度を養います。【第3号】	⑮ p.68～69
道徳ノート	写真で示した他国の礼儀から、共通する精神を考えます。【第3・5号】	p.16～17
互いに励まし合い、高め合える友情を育む 本冊教材番号 ⑬ ⑰	「⑬ライバル」では互いに競い合う人間関係の中にある、相手を敬愛する思いに基づいた友情について考えます。「⑰アイツと進路選択」では異性関係について扱い、互いの自律的な判断を尊重し合えるような、敬愛の念に基づく信頼関係について考えます。【第2・3号】	⑬ p.61～63 ⑰ p.72～77
道徳ノート	友達や異性について自問内省する書き込み欄を設けています。【第3号】	p.18～19
互いの立場や考えを尊重し、謙虚に学び合う 本冊教材番号 ③	「③山寺のびわの実」では寛容の心について考え、広い心で異なる考え方を受け入れ、他者と協力し合っていく態度を養います。【第3号】	③ p.14～18
道徳ノート	だまし絵を手がかりに、異なるものの見方や考え方を学びます。【第3号】	p.20～21

	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
主として集団や社会との関わりに関する点	法やきまりを守り、規律ある社会をつくる 本冊教材番号 21 29	規則と思いやりとの葛藤を扱った「㉑元さんと二通の手紙」、公共の場におけるマナーについての対立を扱った「㉒ベビーカー論争」で、問題解決的な学習を通して、秩序ある社会の形成に参画する態度を養います。【第3号】	㉑ p.91～95 ㉒ p.124～127
	道徳ノート	自分の周りで必要なきまりについて考える書き込み欄があります。【第3号】	p.24～25
	正義と公正さを重んじ、公平な社会をつくる 本冊教材番号 8 22	いじめ問題を扱った「㉓卒業文集最後の二行」と伝記「㉔虹の国—ネルソン・マンデラ—」の2編を通して、正義を重んじ、公正・公平な社会の形成に参画する態度と、国際社会の発展に寄与する態度を養います。【第3・5号】	㉓ p.36～40 ㉔ p.96～101
	道徳ノート	世界人権宣言からすべての人々の平等な権利について考えます。【第3・5号】	p.26～27
	社会と関わり協力し、よりよい社会をつくる 本冊教材番号 33	裁判員制度を題材とした「㉕招集通知—あなたが裁判員になるとき—」では、主体的に社会に参画し、その発展に寄与する態度を養います。【第3号】	㉕ p.142～147
	道徳ノート	公共の精神について自己を振り返る書き込み欄があります。【第3号】	p.28～29, p.42
	勤労の尊さや意義を理解し、社会に貢献する 本冊教材番号 16	「㉖てんびんばかり」では問題解決的な学習を通して、家族への敬愛と協力を重んずる態度と、勤労を重んずる態度を養います。【第2・3号】	㉖ p.70～71
	道徳ノート	九條武子の言葉から勤労の意義について考えます。【第2・3号】	p.30～31
	家族を愛し、充実した家庭生活を築く 本冊教材番号 2 19	「㉗スダチの苗木」では普段見過ごしがちな家族の愛情について考えます。「㉘母と子のロードレース」では臓器移植の問題を通して生命の尊さにも触れながら、家族への敬愛と協力を重んじる態度を養います。【第3・4号】	㉗ p.10～13 ㉘ p.82～87
	道徳ノート	家庭の役割について意識調査の結果をもとに考えます。【第3号】	p.32～33
主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する点	学校を愛し、協力して集団生活を充実させる 本冊教材番号 7	部活動が題材の「㉙監督がくれたメダル」では主人公への共感と、自分が所属している集団での体験を想起する体験的な学習を通して、自己の能力を発揮して、集団における役割と責任を全うする態度を養います。【第2・3号】	㉙ p.32～35
	道徳ノート	最高学年として、学校への思いを書き込む欄を設けています。【第3号】	p.34～35
	郷土の伝統や文化を大切にし、発展に努める 本冊教材番号 32	東日本大震災を題材とした「㉚千年先のふるさとへ」「㉛希望新聞」を通して、郷土を愛し、その発展に寄与していこうとする態度を養います。【第3・5号】	㉚ p.137～140 ㉛ p.141
	道徳ノート	郷土に尽くした先人の調べ学習を通して、郷土愛を育みます。【第5号】	p.36～37
	日本人としての自覚をもち、国の発展に努める 本冊教材番号 30	「㉜運命の木—姫路城の大柱—」では日本が誇る伝統文化を守ろうとした先人の努力を知り、自国の伝統を尊重する態度を養います。【第5号】	㉜ p.128～133
	道徳ノート	調査結果と書き込みから、国の発展に寄与することを考えます。【第3・5号】	p.38～39
	他国を尊重し、世界の平和と発展に寄与する 本冊教材番号 28	「㉝海と空—檉野の人々—」に描かれた国際的な相互扶助の逸話を通して、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。【第5号】	㉝ p.119～123
	道徳ノート	国際社会が抱える問題を考えるための書き込み欄があります。【第3・5号】	p.40～41
	生命の尊さを理解し、大切に する 本冊教材番号 5 20 31	「㉞誰かのために」では家族への敬愛の念を深めるとともに、生きることについて考えます。「㉟ドナー」では生命倫理に関する現代的な課題について、対話的な学びを通して考えを深めます。「㊱高砂丸とボトマック川のこと」では2つの実話から、生命の尊さについて考えを深めます。【第3・4号】	㉞ p.24～25 ㉟ p.88～90 ㊱ p.134～136
	道徳ノート	生命倫理の問題を紹介し、考えるための書き込み欄があります。【第4号】	p.44～45
自然の崇高さを知り、自然の愛護に努める 本冊教材番号 10	実話を扱った「㊲襟裳のこと」を通して、人間と自然との共生について考えを深め、環境の保全に寄与する態度を養います。【第4号】	㊲ p.44～47	
道徳ノート	ワーズワースの詩に触れて自然の尊さを感じ取ります。【第1・4号】	p.46～47	
人知を超えたものへの感動と畏敬の念を深める 本冊教材番号 25	自然の営みへの感動と畏敬の念を扱った「㊳ほっちゃれ」を通して、生命や自然の尊さを感じ取りながら、豊かな情操を育みます。【第1・4号】	㊳ p.110～112	
道徳ノート	「奇跡の一本松」を紹介し、自然への畏敬の念を深めます。【第1・4号】	p.48～49	

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
良心に気づき、よりよく生きる喜びを見出す 本冊教材番号 ⑫ ⑲ ㉓	「⑫ひまわり」では、同年代の主人公の姿から、生命の尊さと生きる喜びについて考えます。「⑲二人の弟子」では人間の醜さと気高さについて考えます。「㉓二度とない人生だから」は、坂村真民の詩に触れて、自分の人生をいかに生きていくかを考え、中学校の道徳科を締めくくります。【第1・4号】	⑫ p.54～60 ⑲ p.105～109 ㉓ p.151～153
道徳ノート	人間のもつ強さと弱さについて考える書き込み欄があります。【第1号】	p.50～51
情報社会を生きていくために	情報化社会における情報の受信・発信の利点と危険性について考え、自律的に行動し、秩序ある社会の形成に参画する態度を養います。【第2・3号】	p.154～155
持続可能な社会の実現を目指して	現代社会が抱える複雑な問題について知り、その解決に向けてどう取り組んでいくかを、道徳科の学びをもとに考えます。【第1・2・3・4・5号】	p.156～157

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

(1) ワイドで見やすいAB判

判型は本冊、別冊ともにAB判を採用し、紙面にゆとりをもたせ、圧迫感のない構成を心がけました。見やすさ、読みやすさを重視して白を基調とした紙面に、イラスト配置を工夫し、ワイド判によるビジュアル面の利点を生かしました。

(2) 表記・構成上の工夫

道徳科の教材は、生徒の読み取りに差異が生じないことが前提と考え、だれもが内容を正確に理解できるよう、配当漢字及び、未習の漢字については、ページ初出のみならず、すべてにルビ（ふりがな）を配しました。（読みやすさを考慮し、固有名詞は初出のみルビを配しています。）

(3) 一覧で自分自身が見える「心のしおり」

別冊巻末に折り込みとして、自己評価や自己の振り返りに活用することができる「心のしおり」を用意しました。教材ごとに自己評価（授業評価）ができるだけでなく、内容項目ごとにも自分の在り方、生き方を振り返って評価することができ、自己の心の状態や成長を実感したり、課題を見つけたりすることができます。

(4) 環境にやさしい用紙、印刷

環境への配慮から本冊、別冊ともに印刷には植物油インキを使用し、用紙はそれぞれの構成内容や使用用途を踏まえた再生紙を用いました。

- ①本冊は、発色のよさ、見やすさを重視した再生紙を使用しました。
- ②別冊は、書きやすさ、消しやすさを重視した再生紙を使用しました。

(5) 製本の工夫 ― 使いやすさと安全性

別冊は書き込みを考慮し、紙面が開きやすい「中綴じ」製本としました。また、綴じ加工用の針金は内側に曲げることで安全性の向上を図り、十分な強度を確保するために3か所に留めています。

(6) 特別支援教育、ユニバーサルデザインへの対応

色覚の違いにより学習に支障をきたすことのないよう、色の識別のみによらず、文字情報をはじめマークの形状やデザインの違いなどで必要な情報が読み取れるように配慮しました。なお、カラーユニバーサルデザインは、専門の第三者機関に検証を依頼し、CUD認証マークの取得を申請しています。

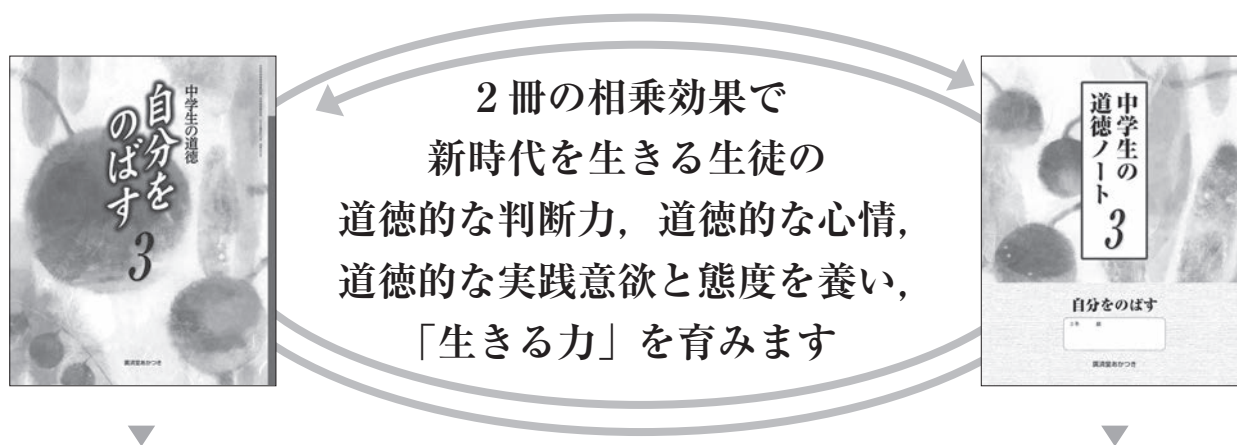
編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
29 - 64	中学校	道徳	道徳	第3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
232 廣あかつき	道徳 928 道徳 929	中学生の道徳 自分をのぼす3 中学生の道徳ノート 自分をのぼす3		

1 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領の総則に示される教育の方針, 道徳科の目標を達成するため, 本教科書は以下の点に特に意を用い, 編修しました。



本冊 中学生の道徳
【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ○発達の段階に応じた選りすぐりの教材 ○教材別「考える・話し合う」 ○教材別 名言(先人・著名人の言葉) ○その他(特集, 内容項目一覧など)
【特色】 ともに考え, 話し合う 教材をもとに考える主体的・対話的な学習を通して, 多面的・多角的な思考を促し, 人間としての生き方についての考えを深めます。
【主な言語活動】 読む, 話す, 聞く

別冊 中学生の道徳ノート
【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ○内容項目(道徳的諸価値)の解説 ○内容項目に準じた問い ○授業で活用できる書き込み欄 ○心のしおり(自己評価など) ○その他(特集, 記録欄など)
【特色】 自分を見つめ, 考え, のぼす 書くことを通して自問と内省へと導き, 道徳的思考をいっそう深め, 道徳的諸価値(内容項目)の理解を確かなものにします。
【主な言語活動】 読む, 書く

授業の事前・事後, 導入・終末など, 生徒の学習状況や教材のタイプ, 教師がイメージする授業の進め方, 展開等に応じて, 適切な機会に別冊を活用することで, 生徒の道徳的諸価値の理解や道徳的思考をより効果的に促すことができます。

本冊の特色

中学生の道徳 自分をのぼす 3

(1) 魅力あふれる多様な教材 (全35本)

名作から新しい作品まで幅広く掲載し、現代的な課題を含むものや問題解決的、体験的な学習活動を促すものまで、多様な教材を取りそろえました。

第二学年	教材の題材		教材の性質	
	教材の題材	該当する教材番号	教材の性質	該当する教材番号
	生命の尊厳	⑤, ⑫, ⑰, ⑳, ⑳, ㉑	問題解決的な学習を促す	③, ④, ⑧, ⑬, ⑭, ⑯, ⑰, ⑱, ㉒, ㉓, ㉔, ㉕
	社会参画	⑳, ㉑	道徳的行為に関する体験的な学習を促す	③, ⑦, ⑮, ⑱, ㉕, ㉖
	自然	⑩, ㉕	教材と関連し学びを深める特集 (thinking) を各学年3編設けています。また、巻末には、「情報モラル」、「持続可能な社会」について考えるページを特設しました。折に触れて各教材との関連を図りながら活用することができます。	
	伝統と文化	⑳		
	先人の伝記	㉒, ㉖, ㉗		
	スポーツ	⑪, ⑰		
情報化への対応(情報モラル)	⑭			
その他の現代的な課題	食育=④/健康教育=④/防災教育=⑳/福祉に関する教育=⑥, ⑫, ⑮, ㉖/法教育=㉑, ㉓/国際理解教育=㉒, ㉓, ㉔/キャリア教育=⑯, ⑰, ㉓/生命倫理=⑤, ⑰, ㉒/社会の持続可能な発展=⑩, ㉒/人権・いじめに関する教育=②, ⑧, ⑭, ㉒			

(2) 重点項目の工夫

学習指導要領の総則に示される指導内容の重点化を踏まえ、関わりの深い内容項目を中心に、以下の項目を重点とし、最大時間数（年間3時間）を配当しています。

第二学年	重点項目		重点項目	
	重点項目	該当する教材番号	重点項目	該当する教材番号
	A 自主, 自律, 自由と責任	①, ⑭, ㉖	D 生命の尊さ	⑤, ㉒, ㉓
B 思いやり, 感謝	⑨, ⑱, ㉗	D よりよく生きる喜び	⑫, ㉔, ㉕	

(3) 主体的・対話的で深い学びを促す「考える・話し合う」と「名言」

生徒が自ら課題意識や問題追求への意欲を高め、主体的・対話的に学習に取り組むことができるよう、教材ごとに「考える・話し合う」を設けました。

学習の目当てと問いで構成された「学習の手がかり」によって、生徒は明確な課題をもって主体的に学習に取り組むことができ、対話を通して道徳的諸価値について深く思考することができます。目当ては発達段階を考慮しつつ、教材によっては道徳的価値をあえて明示しないなど、示し方を工夫しました。また、「考えを広げる・深める」では、自分との関わりで考えたり、自己の体験を想起したりして考える問い、物事を多面的・多角的に捉えるきっかけをつくる問い、道徳的価値に関する思考を促す問いなど、生徒が「さらに考えたいくなる」問いを配し、より充実した学習ができるよう構成しました。

また、すべての教材に先人や著名人、魅力ある人物の言葉を併せて掲載しています。示唆に富んだ一言に触れることで、道徳的諸価値についての更なる理解を促したり、人間としての生き方について考えを深めたりすることができます。

名言
先人や著名人の言葉は、教材と合わせて活用でき、生徒の思考を深めます。



考える・話し合う
目当てと問いによって「学習の手がかり」を示し、生徒の主体的・対話的で深い学びを促します。

(1) 道徳的諸価値（内容項目）の確かな理解を促す解説と資料

道徳ノートは、内容項目ごとに見開き2ページを取り、その冒頭でそれぞれの内容項目（道徳的価値）についての解説を掲載しています。生徒の発達の段階に応じて表現を工夫して示しました。この解説を読むことで、生徒は学ぶべき道徳的諸価値の理解を確かなものに行うことができます。

また、解説の下段には、生徒の学習意欲を喚起する写真や、物事を広い視野から多面的・多角的に捉えるための図やグラフ、先人の逸話や言葉など、さまざまな資料を掲載しています。解説とあわせて活用することで道徳的諸価値についての具体的な場面や行為を想起したり、自己の生活との関わりから自問内省をすることで、道徳的諸価値についての思考を深めることができます。

道徳ノートをどのタイミングで扱うかは、教師の判断にゆだねられます。生徒の実態や教材のタイプ、教師がイメージする授業展開等により、いかようにも活用できることが、内容項目の解説を読み物等の教材とは分離して構成した大きな理由であり、利点であると考えています。

(2) 自問と内省へと導き、道徳的思考を深める問い

内容項目ごとに、その道徳的諸価値に準じた問いを掲載しています。問いの中には自己の生活やさまざまな体験活動との関連を図っているものもあります。この問いと向き合うことで、生徒は、道徳的諸価値についての理解をもとに自己を見つめ、人間としての生き方についての考えをより深めることができます。

(3) 記入したことのすべてが、生徒の「心の記録」となる

道徳ノートへの記入内容は、そのすべてが生徒の「心の記録」となります。生徒は、折に触れて過去の記述を読み返したり、巻末の「心のしおり」を利用して自己評価したりすることで、自らを振り返って成長を実感したり、課題や目標を見出したりすることができます。また、生徒の書き込みなどの学習の記録は、道徳科における評価の参考にもなります。

●内容項目に準じた問い

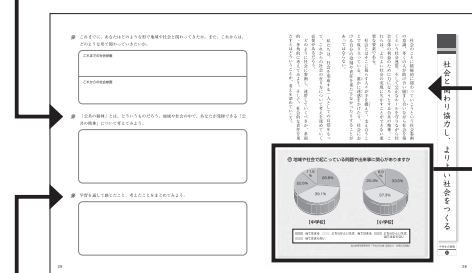
道徳的諸価値の理解をもとに、自己を見つめ、道徳的思考をいっそう深めます。

●内容項目の解説

発達の段階に応じた言葉で分かりやすく示し、道徳的諸価値の理解を深めます。

●巻末折り込み「心のしおり」

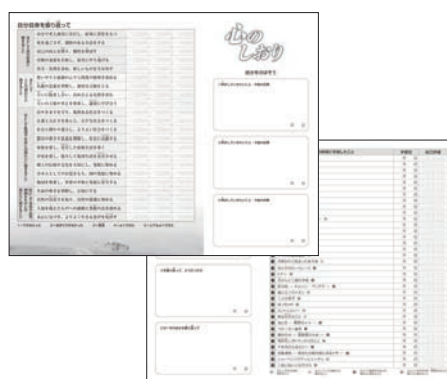
教材ごと、内容項目ごとそれぞれについて、自己評価ができる欄を設けています。



さまざまな図、グラフ、写真、先人の言葉など
解説とあわせて活用することで、生徒の道徳的思考を深めます。

●授業で活用できるノート欄

教師の指示で、記載内容を決めるなど、弾力的な活用が可能です。



2 対照表

本教科書本冊の構成・内容と学習指導要領が示す「内容」の各事項との対照は以下の通りです。

	図書の構成・内容	学習指導要領の内容	本冊 該当箇所	別冊 該当箇所	配当 時数
①	リクエスト	自主、自律、自由と責任	p.4～9	p.2～3, p.12	1
②	スダチの苗木	家族愛、家庭生活の充実	p.10～13	p.32～33	1
③	山寺のびわの実	相互理解、寛容	p.14～18	p.20～21	1
④	独りを慎む	節度、節制	p.19～21	p.4～5	1
	thinking① 日々是好日	節度、節制	p.22～23	p.4～5	
⑤	誰かのために	生命の尊さ	p.24～25	p.44～45	1
⑥	優しいうそ	希望と勇気、克己と強い意志	p.26～31	p.8～9	1
⑦	監督がくれたメダル	よりよい学校生活、集団生活の充実	p.32～35	p.34～35	1
⑧	卒業文集最後の二行	公正、公平、社会正義	p.36～40	p.26～27	1
⑨	原稿用紙	思いやり、感謝	p.41～43	p.14～15, p.22	1
⑩	襟裳のこと	自然愛護	p.44～47	p.46～47	1
⑪	ぶれない心ー松井 秀喜ー	向上心、個性の伸長	p.48～52	p.6～7	1
	thinking② 「僕は一歩ずつ階段を上っていくタイプだと思います」	向上心、個性の伸長	p.53	p.6～7	
⑫	ひまわり	よりよく生きる喜び	p.54～60	p.50～51	1
⑬	ライバル	友情、信頼	p.61～63	p.18～19	1
⑭	ピヨ子	自主、自律、自由と責任	p.64～67	p.2～3, p.12	1
⑮	席を譲られて	礼儀	p.68～69	p.16～17	1
⑯	てんびんばかり	勤労	p.70～71	p.30～31	1
⑰	アイツの進路選択	友情、信頼	p.72～77	p.18～19	1
⑱	月明かりで見送った夜汽車	思いやり、感謝	p.78～81	p.14～15, p.22	1
⑲	母と子のロードレース	家族愛、家庭生活の充実	p.82～87	p.32～33	1
⑳	ドナー	生命の尊さ	p.88～90	p.44～45	1
㉑	元さんと二通の手紙	遵法精神、公德心	p.91～95	p.24～25	1
㉒	虹の国ーネルソン・マンデラー	公正、公平、社会正義	p.96～101	p.26～27	1
㉓	風に立つライオン	希望と勇気、克己と強い意志	p.102～104	p.8～9	1
㉔	二人の弟子	よりよく生きる喜び	p.105～109	p.50～51	1
㉕	ほっちゃん	感動、畏敬の念	p.110～112	p.48～49	1
㉖	カントとルソー	自主、自律、自由と責任	p.113～115	p.2～3, p.12	1
㉗	ある元旦のこと	思いやり、感謝	p.116～118	p.14～15, p.22	1
㉘	海と空ー榎野の人々ー	国際理解、国際貢献	p.119～123	p.40～41	1
㉙	ベビーカー論争	遵法精神、公德心	p.124～127	p.24～25	1
㉚	運命の木ー姫路城の大柱ー	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	p.128～133	p.38～39	1
㉛	高砂丸とポトマック川のこと	生命の尊さ	p.134～136	p.44～45	1
㉜	千年先のふるさとへ	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	p.137～140	p.36～37	1
	thinking③ 希望新聞	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	p.141	p.36～37	
㉝	招集通知ーあなたが裁判員になるときー	社会参画、公共の精神	p.142～147	p.28～29, p.42	1
㉞	ショーペンハウアーとニーチェ	真理の探究、創造	p.148～150	p.10～11	1
㉟	二度とない人生だから	よりよく生きる喜び	p.151～153	p.50～51	1
特集	情報社会を生きていくために	自主、自律、自由と責任／遵法精神、公德心	p.154～155		下記
特集	持続可能な社会の実現を目指して	自然愛護／社会参画、公共の精神／国際理解、国際貢献	p.156～157		下記
配当時数合計					35

・「情報社会を生きていくために」「持続可能な社会の実現を目指して」は、図書の各内容と関連させて適宜使用いただけるよう、配当時数に含めています。

・①～㉟については、最も関連の深い学習指導要領の内容のみを示しています。

本教科書別冊の構成・内容と学習指導要領が示す「内容」の各事項との対照は以下の通りです。

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	別冊 該当箇所	本冊該当箇所 (教材番号)	配当 時数
自分で考え誠実に実行し、結果に責任をもつ	主として自分自身に関すること	自主、自律、自由と責任	p.2～3	① ⑭ ⑳	3
度を過ぎさず、調和のある生活をする		節度、節制	p.4～5	④	1
自己の向上を図り、個性を伸ばす		向上心、個性の伸長	p.6～7	⑪	1
目標の達成を目指し、着実にやり遂げる		希望と勇気、克己と強い意志	p.8～9	⑥ ⑳	2
真実・真理を求め、新しいものを生み出す		真理の探究、創造	p.10～11	⑳	1
 自律の精神をもって、自主的に			自主、自律、自由と責任	p.12	/
思いやりと感謝の心で人間愛の精神を深める	主として人との関わり	思いやり、感謝	p.14～15	⑨ ⑮ ㉓	3
礼儀の意義を理解し、適切な言動をとる		礼儀	p.16～17	⑮	1
互いに励まし合い、高め合える友情を育む		友情、信頼	p.18～19	⑬ ⑰	2
互いの立場や考えを尊重し、謙虚に学び合う		相互理解、寛容	p.20～21	③	1
 思いやる心の温かさを感じて			思いやり、感謝	p.22	/
法やきまりを守り、規律ある社会をつくる	主として集団や社会との関わり	遵法精神、公德心	p.24～25	㉑ ㉒	2
正義と公正さを重んじ、公平な社会をつくる		公正、公平、社会正義	p.26～27	⑧ ㉒	2
社会と関わり協力し、よりよい社会をつくる		社会参画、公共の精神	p.28～29	㉓	1
勤労の尊さや意義を理解し、社会に貢献する		勤労	p.30～31	⑮	1
家族を愛し、充実した家庭生活を築く		家族愛、家庭生活の充実	p.32～33	② ⑱	2
学校を愛し、協力して集団生活を充実させる		よりよい学校生活、集団生活の充実	p.34～35	⑦	1
郷土の伝統や文化を大切に、発展に努める		郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	p.36～37	㉒	1
日本人としての自覚をもち、国の発展に努める		我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	p.38～39	⑳	1
他国を尊重し、世界の平和と発展に寄与する		国際理解、国際貢献	p.40～41	㉒	1
 考えよう 私たちの社会参画			社会参画、公共の精神	p.42	/
生命の尊さを理解し、大切に	主として生命や自然、崇高なものとの関わり	生命の尊さ	p.44～45	⑤ ㉑ ㉓	3
自然の崇高さを知り、自然の愛護に努める		自然愛護	p.46～47	⑩	1
人知を超えたものへの感動と畏敬の念を深める		感動、畏敬の念	p.48～49	㉒	1
良心に気づき、よりよく生きる喜びを見出す		よりよく生きる喜び	p.50～51	⑫ ㉒ ㉓	3
配当時数合計					35

・「自律の精神をもって、自主的に」「思いやる心の温かさを感じて」「考えよう 私たちの社会参画」は、図書の各内容と関連させて適宜使用いただけるよう、配当時数に含めています。

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
29 - 64	中学校	道徳	道徳	第3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
232 廣あかつき	道徳 928 道徳 929	中学生の道徳 自分をのぼす3 中学生の道徳ノート 自分をのぼす3		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容 や内容の取扱いに示す事項	ページ数
	なし		なし	
合計				